

なかなか治らない皮膚疾患
に悩んでいませんか？



「進化する、原点に帰る、
新療法で改善します」



ニキビ、シミ、シワ、肝斑、皮膚炎など お肌の症状がなかなか改善されずに悩んでいませんか？ 様々な皮膚疾患の原因はどこにあるのでしょうか。

人間の皮膚はタンパク質でできています。

タンパク質は、熱を加えたり、強いアルカリにさらすと、高次構造を維持できず、活性の低下・消失が起こります。これをタンパク質の変性といいます。

タンパク質が変性してもその分解と修復はミリ秒（1/1000秒）単位で行なわれています。ところが、死んだ細胞である角質に覆われた皮膚では、

タンパク質の修復が上手く行なわれる人とそうでない人に個人差があるのです。

タンパク質の修復が上手く行なわれないお肌の方は、[※]タンパク変性物質との接触が原因でカサつきやニキビ、湿疹、炎症など様々な症状が現れます。

そのうえ、変性物質との接触は生活習慣の中で当たり前になり繰り返されているのです。

症状を改善するためにはタンパク変性物質との接触を断つことが大切です。

※ タンパク変性物質が使われている可能性のある生活用品

生活用品

- ☐柔軟剤・蛍光増白剤
- ☐入浴剤
- ☐クリーニングに出した衣類
- ☐布製品用消臭スプレー
- ☐マスク など

基礎化粧品

- ☐ローション
- ☐美容液
- ☐クリーム
- ☐パック など

メイクアップ化粧品

- ☐日焼け止め
- ☐下地クリーム
- ☐ファンデーション
- ☐フェイスパウダー
- ☐チーク
- ☐口紅 など

ヘアケア化粧品

- ☐シャンプー
- ☐リンス
- ☐トリートメント
(洗い流さないものも含む)
- ☐整髪料 など

洗浄料

- ☐クレンジング
- ☐石けん
- ☐洗顔料
- ☐ボディシャンプー など

非接触療法

非接触療法とは、タンパク変性物質との接触を断ち、
症状の改善を目指す療法です。

医師の指導に従い、下記のことを行なってください。



- [1] 全ての化粧品の使用を中止してください。(スキンケア・メイクアップ共に)
- [2] 洗顔は水またはぬるま湯のみで行ない、洗顔後は何もつけないでください。
- [3] 石けん・ボディシャンプーは使用せず、お湯で身体を洗ってください。
- [4] シャンプー・リンスは使用せず、お湯または、ASVCや小麦シャンプーで髪を洗ってください。
- [5] 洗濯洗剤を切り替えてください。

こちらの製品はお肌にタンパク変性を起こしません。

シャンプー

ASVCまたはレメッドWP
シャンプー(小麦粉シャンプー)
を使用し、完全脱シャンプー・
リンスを目指しましょう。



洗濯用洗剤

ライオンのトップクリアリキッド
に切り替えてください。
柔軟剤・蛍光増白剤無配合の液体
洗剤は現在この製品だけです。
石けん洗剤、柔軟剤、アルカリ剤、
抗菌剤、粉末洗剤、ホームクリーニ
ング用中性洗剤は使用しないで
ください。



[小麦粉シャンプーを作ってみましょう]

(材料は1回分です。作りおきの場合は冷蔵庫で保管し、1週間程度で使い切るようにしましょう。)

1. 10gの小麦粉を取り出します。
2. 鍋に90gの水を入れ、弱火にかけます。
※ 強火では小麦粉が固まって糊になってしまうので、気をつけましょう。
3. 小麦粉をダマにならないよう少しずつ入れ、混ぜます。
4. 小麦粉が完全にとけて、とろみのある液体になったら火をとめて冷めます。

[湯シャンをしてみましょう]

慣れるまでは、以下の手順で7～10分を目安に丁寧に洗いましょう。

1

獣毛のブラシで髪をよくブラッシングします。



2

シャワーを地肌にあてながら、
指の腹を使い小刻みに軽く揉むような感じで洗います。
髪を分けながら、頭皮をまんべんなく洗うのがポイントです。



3

汚れが気になる方は、洗面器にお湯をため
頭をつけて、地肌と髪の根元を洗いましょう。



4

指で髪をとかすようにしながら、
すすぎはシャワーで充分時間をかけて行ないます。



Point

1. やや高めのお湯の温度 2. 念入りなブラッシング 3. 充分なすすぎ

湯シャンの成功の秘訣は、まず1ヶ月続けることです。

髪を洗うときに地肌を強くこすりすぎるとフケの原因となります。

やさしく洗いましょう。

かゆみがなかなかとれないという方は、枕カバーなどの寝具を、石けんや柔軟剤、
蛍光増白剤の入った洗剤で洗っていることが考えられます。

いま一度、洗濯洗剤を確認してみてください。

ビタミンC塗布療法

ビタミンC塗布療法とは、ASVC（活性保持型ビタミンC）を3ステップで使用方法です。

非接触療法とビタをミンC塗布療法を併用し、
3つのステップを着実に実践することにより、
既往歴や年齢を問わず、すぐに皮膚の変化が現れます。

STEP 1

1ヶ月

- [1] タンパク変性物質との接触を断つ。
- [2] ASVC 22を使用し、傷んだ皮膚を整える。



- 《皮膚の変化》
- ・面皰(コメド)形成を抑制する
 - ・くすみが取れる
 - ・開大した毛穴が縮小
 - ・皮膚の紅斑の改善
 - ・皮膚掻痒の改善
 - ・皮膚炎の症状軽減 など

STEP 2

1ヶ月

- [1] タンパク変性物質との接触を断つ。
- [2] ASVC 28を使用し、傷んだ皮膚を整える。



- 《皮膚の変化》
- ・色素沈着の改善
 - ・シワの軽減
 - ・皮膚の弾力性向上 など

STEP 3

1ヶ月～

- [1] タンパク変性物質との接触を断つ。
- [2] 患部にASVC 35を使用し、集中的に治療する。



- 《皮膚の変化》
- ・肝斑、老人性色素斑の改善
 - ・シワの改善
 - ・皮膚炎の改善 など



新療法に関するQ & A

Q. 紫外線対策は？

- A. 日焼け止めは界面活性剤、シリコンを含んでいる場合があります、長時間使用することによってお肌が傷んでしまう可能性があります。また、洗浄力の強いクレンジング剤でなければ落とせないものもあります。
- 紫外線対策は、日傘や帽子、長袖の衣類などで防ぐことをおすすめします。

Q. お肌がザラザラするときは？

- A. ザラザラとした手触りを感じたら、それは「角栓」ができています。角栓は皮脂と角質でできています。毛穴の角質がちょっと多めに剥離して、お肌の一番上まで押し上げられたものです。
- いずれは自然に取れるものですから、取ってしまっても問題はありません。
- お風呂に入って身体がよく温まったら、手ぬぐいでお肌をそっとぬぐってください。
- 強くこすらないようやさしく行なってください。自然に余分な角栓が取れて、滑らかなお肌になります。

Q. 睡眠不足はやはりお肌に悪い？

- A. 睡眠不足やストレス、体調の変化にお肌にも影響を受けています。適度な運動、バランスの取れた食事、十分な睡眠を心がけましょう。皮膚も身体の一部ですので、体調だけでなくお肌の調子も整えることができます。

Q. ステップ3まで到達し肌状態が改善したら？

- A. 改善後も、お肌に接触するものは、必ず全成分を確認してから使うようにしましょう。

Q. ASVCをつけた後、赤みやカサつきなどが出るときは？

- A. 傷んだお肌にはASVCが刺激となることがあります。接触しているものを再度確認してみましょう。
- 冬はセーターやマフラー、コート、毛布など柔軟仕上げをしてあるものとの接触にも気をつけましょう。

Q. ASVCをつけてピリピリするときは？

- A. お肌の傷んでいる部分がピリピリします。ASVCを塗ってピリピリするときは3分待たずにすぐに洗い流しましょう。ダメージが早く整いますので、毎日使用するようにしてください。
- ただし使用後、翌朝まで赤みが残るときは2日ほど使用をお休みしてください。

Q. ASVCを3分以上つけてしまったら？

- A. 3分以上つけていても、お肌の変化は同じことがわかっています。長くつけても違いはありません。
- 洗い流さずに寝てしまった場合、個人差はありますがお肌が赤くなることがあります。
- もしも赤くなるなどの症状が出た場合にも、使用を2日控えていただくと元に戻ります。